

# 「授業の流れ」

## 【小学生 英語コース】

6年生：火曜日 17：00～18：30

5年生：水曜日 17：00～18：15

宿題の確認と音声練習	インプット（新しい内容）	復習とアウトプット
アルファベット、フォニックス	新出事項の学習	演習・復習・お帰り課題
20～30分	20～30分	20～30分

- 『基礎英語0』の取り組み状況確認と練習。『音声練習』はフォニックスに関する教材を使用します。『英語の耳』『英語の口』、『英語の発想』を身につける練習です。
- 『インプット』はオーソドックスな文法体系をベースとした『Up & Away』を使用し、体系的に英語を学んでいきます。また、記憶を定着させるために、文字を書くことの学習も行います。
- 『アウトプット』は習った内容を使えるように練習します。
- 宿題には音声教材が含まれます。家庭学習でCDを聞くことを求めますので、聞くことのできる環境の整備をお願いいたします。また、NHKの『基礎英語0』等の英語番組を視聴してくることを必修としています。
- 持ち物は、ファイル、テキスト、筆記用具です。靴なども含めて、記名を忘れずをお願いします。
- 授業前後の待ち時間に学校の宿題等をやっても構いません。
- 年間48回、1か月平均4回の授業です。

## 【小学生 国語・算数コース】

木曜日 1～6年生 17：00～18：30

国語	算数
学年ごとに目標ページ数を設定します。 (基本は見開き4ページ。1か月で1冊終了するペースです。)	
目標ページ数を達成したら終了です。また、2教科を選択している生徒は、国語か算数のいずれか進度の遅れている方を宿題とします。	

- テキストは無学年進級式の『のびのびじゃんぷ』を使用します。  
1年生から6年生までの内容が約40級に分けられており、各級は15回分の問題と進級テストの合計16回分で構成されています。見開き1ページにつき、新しい内容が1つ登場します。そして、その類似問題を5回繰り返して身につける仕組みです。100点を積み重ねていくことが可能です。
- 15回分が終了したら進級テストを実施します。合格すると進級証明書を受け取り、次の級に進みます。
- この教材は25年以上前から小学生の基礎力養成に使用されています。開発にあたっては学研も加わっていますが、現在は株式会社『創育』が扱っています。大分では「くもん」や「学研」のようなネームバリューはありませんが、プリントが冊子になっているメリットは十分にあり、安価でコストパフォーマンスが高いのが特徴です。40級まで終えた時は中学校で学ぶための十分な力を備えたことが証明されます。尚、当ゼミの授業料はテキスト代を含んでいます。

## 【中学生 英語コース】

基礎		応用	
・学校の教科書に沿った先取り学習	・『基礎英語1・2・3』の音読テスト ・Can Do リストカードの日→英テスト	・1, 2年は『Up and Away』、3年生はその時点でのレベルに最も適した教材をメインテキストとして使用し、文法項目を定着させながら、読むことの楽しさを味わいます。	・ボキャブラリーを増やす。
20分	20分	25分	15分

- 『基礎』は学校および『基礎英語』における学習内容の定着を図ります。
- 『応用』は『Up and Away』その他のテキストを使用し、新しい文法事項のインプットを行います。  
また、ボキャブラリーを増やすために、それぞれの学年に応じた教材を使用します。
- 年間48回の授業です。定期テスト前には対策講座を行います。
- 持ってくるものは「Up and Away」等のテキスト、「基礎英語」「ボキャブラリー関係教材」です。

## コース別 授業レベル一覧

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
				小5・6コース							
						中1コース					
							中2コース				
								中3コース			
									高校生 英検準2・2級コース		

## 【中学生 数学コース】

基礎		応用	
・英語の課題が終了した生徒から、数学の基礎問題に取り掛かります。 *原則、英語が終了しない生徒は数学に進むことができません。	・『みるみるわかる数学の要点1・2・3』の要点をマスターします。 *ここまでは全員必修です。	・それぞれの理解度に応じた問題に取り組みます。	・学習が終了した生徒は『毎日ノート』等に本日間違った問題等をやり直します。
20分	20分	25分	15分